

CasheW

水性

低臭

ホルムアルデヒド  
放散等級

F★★★★

登録番号 K05105

塗っててよかった！スリップ防止  
タイル床面の滑り止め塗料

フットグリップ

Foot Grip

雨の日もう  
滑らない！！



# フットグリップ Foot Grip

防滑性

速乾性

塗装作業性

耐候性

塗るだけで、水に濡れたタイル床面の滑りを解消！  
楽々できるスリップ対策！！

施工前



施工後



## フットグリップの特徴

- 水性でありながら乾燥性に優れているため  
常温（23℃）で塗装後、約4時間で軽歩行可能となります。  
（1回塗りの場合）
- 水性のため、施工中・施工後の臭気の問題がありません。  
店舗などにも最適です。
- 塗料と専用滑り止め材を組み合わせた透明な塗膜で、今ある  
タイルの風合いを損ないません。
- 耐候性に優れたアクリルシリコン樹脂の採用により、外部でも  
変色がほとんどありません。
- 下塗り（プライマー）なしで直接タイルとの密着性に優れています。

## 適用素材

磁器タイル

御影石

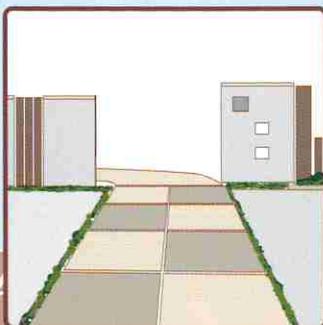
## 塗床材

※レンガ調タイル・大理石・鏡面セラミック  
タイルなどには施工できません。

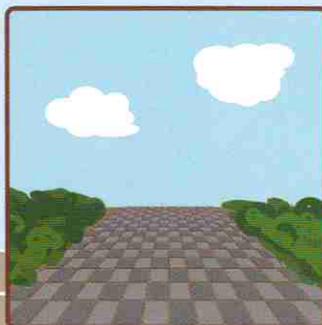
うすめ液・用具  
の後始末

水

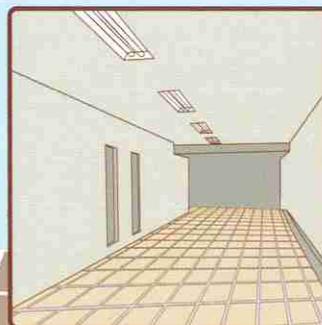
## 用途はいろいろ



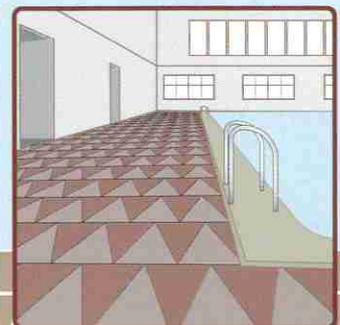
玄関アプローチに



公園に



通路に



屋内施設に

## 施工とメンテナンス

フットグリップは施工前の「下地処理」から施工後の「アフターメンテナンス」に至るトータルでの施工をご提案いたします。

### 下地処理



汚れを洗剤で除去します。

### 施工



4時間で軽歩行可能

簡単・早い作業で、通行止め期間を短くできます。施工後は「安心・安全」なタイルに生まれ変わります。

### メンテナンス



施工後は、通常の簡単なメンテナンスを定期的に行うことにより、きれいな状態を維持することができます。

## 塗装仕様

### 標準仕様

〔フットグリップ用滑り止め材：アルミナ製ビーズ〕

製品名	調合比	希釈率(%)	塗面積(m <sup>2</sup> )	塗回数(回)	塗装方法	乾燥時間(23℃)
フットグリップ フットグリップ用滑り止め材	主剤：滑り止め材 100：12	清水 0～10	6.6 1kgあたり/1回塗り	1～2	ローラー 刷毛など	(塗り重ね) 2～24時間 (歩行可能) 4時間以上

※フットグリップの仕上がりは半ツヤとなります。(タイル形状によりツヤの加減が異なる場合があります)

※厚塗りするとフットグリップ滑り止めが沈むため、十分な防滑性が得られない場合があります。

※塗装回数は使用状況・歩行頻度によって2回塗りをお勧めします。塗り重ねは2～24時間(乾燥温度23℃)

## 塗料性状

	フットグリップ	フットグリップ用滑り止め材	試験方法
外観	白色(乾燥後透明)	粉末	目視
可使用時間	なし	なし	JIS K5600-2-6
危険物分類	非危険物	表示なし	消防法

## 荷姿



フットグリップ	1 kg	4 kg
フットグリップ用滑り止め材	120g×1	120g×4

## 物性試験

試験項目	標準仕様(1回塗り)	試験条件
軽歩行可能時間	4時間(23℃)	軽度な歩行による状態確認
耐摩耗性	37.4 mg	JIS K 5600-5-9 テーバー式磨耗試験 (荷重:500g、回転数:1000回転)
1次密着性	分類0(25/25)	JIS K 5600-5-6
耐水性	外観	異常なし
	2次密着性	分類0(25/25)
温冷繰り返し	外観	異常なし
	2次密着性	分類0(25/25)
耐滑り性	乾燥面	0.77 C.S.R.
	湿潤面	0.58 C.S.R.

### 防滑性について

C.S.R.値は東京工業大学で研究開発された耐滑り試験機を用いて「人が歩いた時の感覚を最も忠実に数値化したすべり抵抗係数」を指します。日本建築学会のC.S.R.推奨値として、0.40～0.90C.S.R.が下足で歩行する際の滑りの安全範囲となっています。近年、床面の安全性を確保するために条例などでも採用されることが増えています。

## 注意事項

### ■下地の種類

- 磁器タイル（吸水率区分1種のタイル相当）・御影石・2液反応型塗床材およびモルタル目地を標準とします。  
これら以外の適用については別途ご相談ください。
- ※塗床材への施工は、必ず施工可能かどうかの確認を実施してください。
- レンガ調タイル、大理石、鏡面セラミックタイルへの施工はできません。

### ■下地の状態

- 下地は洗剤（洗剤・薬品）や高圧水洗などで洗浄し、清浄な状態としてください。
- ※目地部が劣化している場合、白華現象が発生している場合があります。  
必ず除去するようにしてください。
- 下地は十分に乾燥させてください。

### ■気象条件

- 降雨・降雪・夜露・凍結が予想される場合は、適切な処理をするか施工を避けてください。
- タイル表面温度が5℃以下になる場合には施工を避けてください。
- 強風時には材料が飛散したり汚染物が付着し塗装面を汚す恐れがあるため、作業を中止するか適切な処置を講じてください。

### ■洗浄作業における注意事項

- 洗浄に使用した薬品や洗剤は水洗により完全に除去してください。残存成分が塗膜に影響を及ぼすことがあります。
- 薬品や洗剤の飛散・付着により、住人や通行人、近隣に対して影響を与えないように注意してください。
- 洗浄しても除去できない汚れがある場合、フットグリップを施工すると汚れが目立つ場合があるので注意し、事前に施工主の了承を得るようしてください。

### ■下地処理における注意事項

- 改修工事における下地処理は物件によりそれぞれ異なるため、事前に調査し、その物件に応じた下地処理の特記仕様を作成し、承認を得てから工事に着手してください。

### ■使用材料

- フットグリップは艶消し剤を配合している為、あらかじめ均一に攪拌してください。
- 材料を小分けして使用する場合は、秤（最小目盛が10g以下）を使用して正確に計量してください。
- フットグリップとフットグリップ用滑り止め材を混合する際は、充分に攪拌してください。特にフットグリップ用滑り止め材は比重が重く塗料中に沈降しやすく、ほぐれにくい為、充分な攪拌が必要です。
- フットグリップ用滑り止め材はフットグリップ専用です。他塗料への転用はできません。
- フットグリップ用滑り止め材を混合した塗料は保存ができません。ご使用の際は必ず、使用量にあわせて調合し使い切りとしてください。
- フットグリップ用滑り止め材のご使用は、塗装1回毎に調合して使い切りとしてください。
- 滑り止め材を混合していない塗料を保存した際、容器内側の縁に皮が張った状態で固まる場合があります。その場合は固まった塗料を除去してから使用してください。

### ■施工について

- 塗装条件により艶感や滑り止め効果が変わる為、施工時には塗装条件を合わせる必要があります。
- フットグリップの塗装により、目地モルタルは濡れ色になります。目地の吸い込み差がある場合、濡れ色の程度に差異が見られる場合があります。
- 一度に厚塗りをすることは避けてください。  
水性塗料である為、水分が塗膜中に残り、ワレ等の不具合を起こす可能性があります。また、滑り止め材が塗膜中に埋まってしまい、防滑効果が得られにくくなります。
- 施工後、マスキングを剥がす際は、塗り終わり直後、または歩行可能な状態まで乾燥した時点で作業を行ってください。  
塗膜が乾燥している途中段階でマスキングを剥がすと、マスキングと共に塗膜が剥がれる可能性があります。
- シンナーなどがかかる等、溶剤性の求められる場所への施工はできません。
- 水が常時溜まるような場所への施工は避けてください。
- 屋外用途で塗装する際、降雨または降雪のおそれがある場合は、施工をさけてください。

### ■材料の保管および廃材の取り扱い

- 火気やスパーク、高温物のあるところでは使用しないでください。
- 取り扱い作業所には、局部排気装置を設けてください。
- 塗装中、乾燥中とも換気を良くし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中は、できるだけ蒸気の吸収を避け、皮膚に触れないようにしてください。必要に応じて有機ガス用防塵マスクや送気マスクを着け、さらに、頭巾、保護めがね、長袖の作業着、えり巻きタオル、保護手袋、前掛けなどを着用してください。
- 塗料の付着したウエスや塗料かすなどは、必ず廃棄するまで水につけておいてください。
- 取り扱い後は手洗いうがいを充分にしてください。
- 容器からこぼさないように取り扱ってください。
- 貯蔵の際は、必ずフタをして、0℃以上40℃以下の場所に保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使い切ってから廃棄してください。
- 塗装以外の用途には使用しないでください。
- 指定された以外の材料と混合しないでください。
- 呼吸器や皮膚が敏感なアレルギー体質の方は、この塗料を使用する作業にたずさわらないでください。
- 材料の保管は、直射日光の当たらない、風通しの良い場所で保管してください。

- ※廃棄する場合は産業廃棄物として処理してください。
- ※詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)を参照してください。

## Cashew カシュー株式会社

本社・大宮工場 〒331-8633 埼玉県さいたま市北区吉野町1-407-1 TEL.048-653-1115(代表)  
東京事業所 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-6-20 TEL.03-3807-7145(代表)  
名古屋営業所 〒486-0952 愛知県春日井市追進町3-77-2 TEL.0568-34-7070(代表)  
大阪事業所 〒577-0067 大阪府東大阪市高井田西3-8-28 TEL.06-6782-1815(代表)  
広島テクニカルセンター 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-43 TEL.082-431-6681(代表)